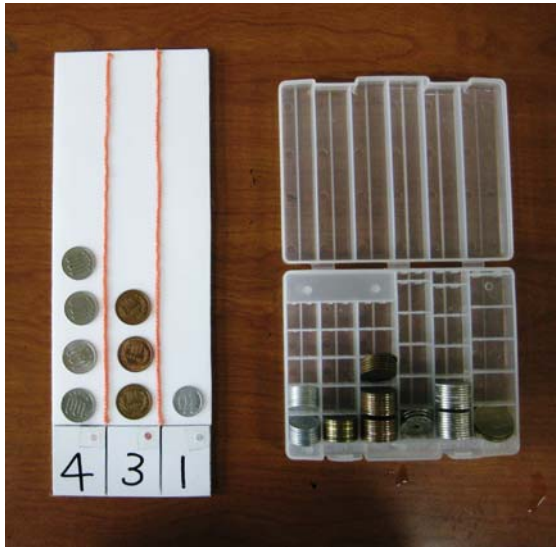


教材・教具 1

番号; 1	教材・教具名; 「ぜんぶでいくら？」	教科・領域; 算数 かず, お金	学部; 小学部	制作者; 中宮 正和
----------	-----------------------	---------------------	------------	---------------

教材・教具



制作理由

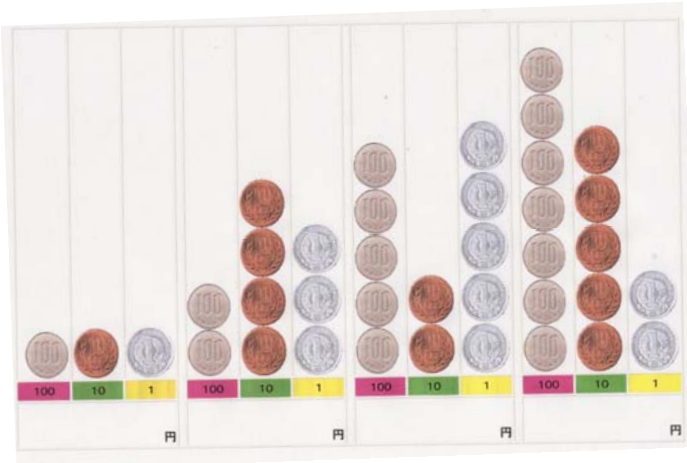
お金には、十進法の単位をもとにした1円・10円・100円などがある。また、5円・50円・500円等という異なる単位もある。組み合わせ方は、金額によっていろいろあり、お金の具体的な操作を行っていく中で、数えやすく、分かりやすいお金の組み合わせを考えて使っていくことが実生活には不可欠な力である。したがって、数についての感覚を高め、買い物のやり取りへつなげていくためにこの教材を制作した。

指導ポイント

- ・お金にはいろいろな種類があり、その弁別ができるようにする。
- ・具体物である硬貨の数と数字を関連付けさせながら、百の位、十の位、一の位の組み合わせでお金の合計が決まることを意識させる。
- ・具体的な操作を繰り返し行うことでお金の計算が正確にできるようにする。

具体的な活用方法

- (1) お金の組み合わせ方を理解するためにボードを補助教材として活用する
- ① 1円, 10円, 100円の種類が分かり、弁別できるようにする。
(その後, 5円, 50円, 500円, 千円, 二千円, 五千円, 一万円の種類を増やしていく)
 - ② ボードの下の部分に指定した金額を書き入れ、百の位の列に100円玉を、十の位の列に10円玉を、一の位の列に1円玉を数字の分だけ置くことで、お金の合計を組み合わせることができるようにする。
(児童の興味・関心をひくように、店のチラシなどに書かれてある金額を指定する)
 - ③ プリントで復習することで学習を確認、定着できるようにする。



- (2) 買い物ごっこで買い物のやり取りを身につける。
- (3) 校外学習や家庭において、実際に買い物を繰り返し経験する。